

記入例（石材）

[様式-1 (甲)]

<p>提出年月日を記入する 平成 年 月 日</p> <p>土木工事における工事材料事前審査申請書</p> <p>青森県 総務部 工事検査課長 殿</p> <p>住所 □□□□□□□□ 申請者名 ○○○○石材(株) ○○○工場 担当者名 △△△△△△ 連絡先 TEL 017-722-1111 FAX 017-722-1112</p> <p>下記事項について審査願います。</p>	<p style="text-align: right;">平成□年□月□日</p> <p style="text-align: center;">審査済書</p> <p style="text-align: right;">記入しない</p> <p style="text-align: center;">○○○○石材(株) ○○○工場</p> <p style="text-align: right;">殿</p> <p style="text-align: right;">青森県 総務部 工事検査課長</p> <p style="text-align: center;">下記事項について審査しました。</p>
---	---

番号	名称	規格	有効期限	審査済番号		有効期間
				農林水産部	県土整備部	
	<p>○提出前の確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称、規格が工事材料事前審査汎用品一覧表と合っているか？ ・記載事項に間違いや漏れはないか？ ・試験成績表など提出資料がそろっているか？ ・岩石等採取計画認可書の写しがあるか？ <p style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 5px;">注) 切込碎石 は × 粒調碎石 は ×</p> <p style="text-align: right;">記入しない。</p>					
1	クラッシュラン	C-20	平成29年12月10日	青農-H29-J03108-000	青土-H29-Z0300060-000	平成□年□月□日から 平成29年12月10日
<p>・石材等の、有効期限。 「試験日」から1年間となる。(試験成績表発行日ではない) スペース等の関係から「H29.12.10」でもよい。</p> <p>注) 試験日から1年以内に採取計画認可期間が終了する場合は、認可期間末日まで。</p>						
						記入しない
	申請者名				全体のページ数	
	○○○○石材(株) ○○○工場			審査年月日		平成□年□月□日

記入例（生コン）

[様式-1 (甲)]

<p>提出年月日を記入する 平成 年 月 日</p> <p>土木工事における工事材料事前審査申請書</p> <p>青森県 総務部 工事検査課長 殿</p> <p>住所 □□□□□□□□</p> <p>申請者名 ○○生コン(株) ○○○工場 会社印</p> <p>担当者名 △△△△△△</p> <p>連絡先 TEL 017-722-1111 FAX 017-722-1112</p> <p>下記事項について審査願います。</p>	<p>平成□年□月□日</p> <p>審査済書 記入しない</p> <p>○○生コン(株) 殿 ○○○工場</p> <p>同じ名称か？</p> <p>青森県 総務部 工事検査課長</p> <p>電話番号、FAX番号を記入する</p> <p>下記事項について審査しました。</p>
--	--

番号	名称	規格	有効期限	審査済番号		有効期間
				農林水産部	県土整備部	

- 塩化物含有量の計算書があるか？含有量が0.30kg/m³を超える場合は事前審査対象外。
 - 付属書B.2 a)によりアルカリシリカ反応抑制策を行っている場合はアルカリ総量計算書を添付する事。
 - 20mmと25mmの両方を製造し申請する場合は、20mm25mmの2つの配合表を提出すること。
 - 提出前の確認事項
 - ・名称、規格が工事材料事前審査汎用品一覧表と合っているか？
 - ・申請書、配合表等の記載事項に間違いや漏れはないか？
- JIS認証書(認証継続の証明資料)、品質管理監査合格証の写し、岩石等採取計画認可書等の提出資料がそろっているか？

生コンクリートの例 ①

1	生コンクリート	21-8-25 (18-8-25(20)) (W/C≤65)	平成30年5月31日	青農-H29-J02002-000	-	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日
2	生コンクリート	21-8-40 港湾②農林規格 (18-8-40) (W/C≤65)	"	青農-H29-J02008-000	青土-H29-Z0291010-000	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日
3	生コンクリート	24-8-40N 港湾② (24-8-40) (W/C≤60)	"	-	青土-H29-Z0291100-000	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日

上段：汎用品該当品
中段：汎用品

・スペース等の関係から「H29.6.1～H.30.5.31」でもよい。

申請者名

全体のページ数

記入しない

○○生コン(株) ○○工場

審査年月日

平成□年□月□日

1

4

記入例（生コン）

[様式-1 (乙)]

番号	名称	規格	有効期限	審査済番号		有効期間
				農林水産部	県土整備部	
生コンクリートの例 ②						
1	生コンクリート	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">21-8-40</div> 港湾④農林規格 (21-8-40) (W/C ≤ 60) 土木②港湾⑤ 農林規格 (18-8-40) (W/C ≤ 60) 主木④-2 (18-8-40) (W/C ≤ 60) (C ≥ 230kg)	平成30年5月31日	青農-H29-J02019-000 青農-H29-JB0014-000 -	青土-H29-Z0291080-000 青土-H29-Z0290020-000 青土-H29-Z0201045-000	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日
← 配合計画書で水セメント比、セメント使用量などが守られているか？ (このケースでは、W/Cが60%以下、セメント使用量が230kg/m ³ 以上になっているか？)						
コード番号、名称、規格等が汎用品一覧表と合っているか？						
生コンクリートの例 ③						
1	水中コンクリート	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">40-15-40</div> (15cm-40mm) (W/C ≤ 50%) (C ≥ 370kg)		-	青土-H29-Z0292010-000	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日
← 呼び強度の指定がないため呼び強度の記載がなくてもよいが、 呼び強度により配合設計をしている場合は記載する。 配合計画書で水セメント比、セメント使用量などが守られているか？						
			ページ No			記入しない
	申請者名					
	〇〇生コン(株)〇〇〇工場			審査年月日		平成□年□月□日

2 / 4 ← 全体のページ数

記入例（AS合材）

[様式-1 (甲)]

<p>提出年月日を記入する 平成 年 月 日</p> <p>土木工事における工事材料事前審査申請書</p> <p>青森県 総務部 工事検査課長 殿</p> <p>住所 □□□□□□□□ 申請者名 ○○アスコン(株) 担当者名 △△△△△△ 会社印 連絡先 TEL 017-722-1111 FAX 017-722-1112</p> <p>下記事項について審査願います。</p>	<p>平成□年□月□日</p> <p>審査済書</p> <p>記入しない</p> <p>○アスコン(株) 殿</p> <p>同じ名称か？</p> <p>青森県 総務部 工事検査課長</p> <p>電話番号、FAX番号を記入する</p> <p>下記事項について審査しました。</p>
--	--

番号	名称	規格	有効期限	審査済番号		有効期間
				農林水産部	県土整備部	

○提出前の確認事項

- ・名称、規格が工事材料事前審査汎用品一覧表と合っているか？
- ・申請書、配合表の記載事項に間違いや漏れはないか？
- ・各種材料の試験成績表など提出資料がそろっているか？
- ・使用骨材に係る岩石等採取計画認可書があるか？

・国土交通省等の出先機関（以下、国）が行っている「アスファルト混合物事前審査制度」認定混合物を製造している工場の取扱いについて

(1) 青森県の「汎用品一覧表」に掲載され、国の認定を受けた製品。
・国の事前審査認定証の写し、混合物総括表の写し。

(2) 青森県の「汎用品一覧表」に掲載されている製品。
・県のアスファルト混合物総括表
(様式-2 記入例 参照)

アスファルト混合物の場合の例 ①

1	アスファルト混合物	①粗粒度(20) AS=4.5~6.0%	平成30年5月31日	青農-H29-J01001-000	青土-H29-Z1000000-000	平成29年6月1日から 平成30年 5月31日
---	-----------	-------------------------	------------	-------------------	---------------------	----------------------------

アスファルト混合物の場合の例 ②

1	再生加熱アスファルト混合物	国土交通省認定混合物 R50-07 細粒度アスコン(13) AS=6.0~8.0%	平成30年3月31日	青農-H29-JQA009-000	-	平成29年4月1日から 平成30年 3月31日
2	アスファルト混合物	①粗粒度(20) AS=4.5~6.0%	平成30年3月31日	青農-H29-J01001-000	青土-H29-Z1000000-000	平成29年4月1日から 平成30年 3月31日

申請者名	全体のページ数	記入しない
○アスコン(株)	審査年月日	平成□年□月□日

工事材料事前審査 アスファルト混合物 総括表

会社印

(青森県)				会社名					
混合物の名称				規格					
コード番号		県土整備部 農林水産部		有効期間		国の有効期間と同じか？			
最大粒径 mm				突固め回数		回			
使用アスファルトの種類				併設加熱方式		間接加熱方式			
混合物製造方法 ドラムミキサ方式				併設加熱方式		間接加熱方式			
使用骨材の室内配合・材質・産地				現場配合					
骨材名	配合比 (%)	材質	産地	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)
C-5号				5ビン					
新6号				ビン			設計アス量 ()		
7号				ビン			旧アス量 ()		
骨材 S C				ビン			再生添加剤		
粗砂				ビン			新アス量		
石粉				スト			改質材*		
再生 R13-0				石粉					
計				R13-0			計		
通過質量百分率 (%)	ふるい目 mm	粒度範囲	室内配合	現場配合	試験練り結果	基準値			
37.5	mm								
31.5									
26.5									
19.0									
13.2									
4.75									
2.36									
600									
300									
150									
75	μm								
アスファルト量 (%)									
旧アスファルト量 (%)									
再生用添加剤 (%)									
新アスファルト量 (%)									
改質材料* (%)									
密度 (g/cm ³)									
理論密度 (g/cm ³)									
空隙率 (%)									
飽和度 (%)									
安定度 (kN)									
フロー値 (1/100cm)									
残留安定度 (%)									
基準密度 (g/cm ³)									
動的安定度 (回/mm)									
すりへり量 (cm ²)									
透水係数 (cm/sec)									
混合物出荷目標温度 (社内規格値)	春期	±	°C	夏期	±	°C			
	秋期	±	°C	冬期	±	°C			

この様式は「国の事前審査制度により認定された混合物を製造する工場」が申請する時に使用する。

○名称、規格、コード番号があっているか？
 ○配合計算書からの記入もれや間違いがないか？
 ○会社印が押されているか？

・AS量など、規格を満たしているか？

* : プラントミックスタイプの改質材を使用の場合、現場配合の配合比および計量値は、その固形分を表示してある。